



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社メディパルホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7459 URL <http://www.medipal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 秀一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 土塩 守 TEL (03)-3517-5171

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,485,725	5.8	18,441	26.8	24,384	23.3	12,636	23.0
27年3月期第2四半期	1,404,923	△2.6	14,547	△8.5	19,772	△21.8	10,271	△27.5

（注）包括利益 28年3月期第2四半期 14,171百万円（△27.8%） 27年3月期第2四半期 19,629百万円（26.9%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	55.80	—
27年3月期第2四半期	45.43	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,446,035	468,327	27.5
27年3月期	1,454,800	457,604	26.8

（参考）自己資本 28年3月期第2四半期 397,621百万円 27年3月期 390,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	13.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,033,000	5.6	38,000	15.9	51,000	14.7	26,400	11.4	116.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	244,524,496株	27年3月期	244,524,496株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	18,084,120株	27年3月期	18,082,826株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	226,440,971株	27年3月期2Q	226,099,880株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期の連結業績予想は、平成27年5月13日公表の数値から修正しております。詳細につきましては、平成27年10月30日付で開示いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気に下振れ懸念はあるものの、政府による経済政策の効果、個人消費の持ち直し、企業収益の改善などにより、緩やかな回復基調が続いております。

このような経済状況の中、当社グループでは、平成29年3月期を着地点とした「2017メディカル中期ビジョン Change the 卸 革新と創造」を掲げ、各事業においてビジョンに沿った取組みを推進しております。当社グループが培ってきた物流機能、営業機能をさらに強化して既存事業の革新を進めるとともに、資産・人材・資金の活用や外部資源を活用して新たな事業を創造していくことで収益の多角化を図り、当社グループの成長と更なる企業価値の向上をめざしております。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1兆4,857億25百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益184億41百万円（前年同期比26.8%増）、経常利益243億84百万円（前年同期比23.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益126億36百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品市場は、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進があったものの、新薬創出加算品や新たなC型肝炎治療薬の需要が拡大したこと、また、前年同期にあった消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が解消したことなどによりプラス成長となり、販売は順調に推移いたしました。また、顧客との販売価格交渉を着実に進める一方で、物流業務の効率化などにより販管費の削減を行い、利益の確保に努めました。

本事業では、国民にとって安全・安心な医療を支える社会インフラとして、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を図るべく、卸機能を最大限に発揮するためのさまざまな取組みを行っております。

物流基盤の強化については、高品質・高機能かつ災害対策を施した新しい物流機能とサービスの全国への拡大をめざしており、現在3か所（福岡市東区、岡山県都窪郡、埼玉県三郷市）でALC^{※1}の新設を進めております。また、ALCが既に稼働しているエリアにおいてはFLC^{※2}の設置を進めております。さらに、ALCと連動して、調剤薬局における医薬品の品切れ防止や業務効率の改善などを実現する調剤薬局業務サポートシステム「PRESUS^{※3}（プレサス）」^{※3}の普及を進めております。

営業面の強化については、1,500人規模のMR認定試験合格者を、高い専門知識とスキルをもつAR^{※4}として任命し、新たなプロモーション活動に取り組んでおります。

また、全国の事業拠点やARなどの人材資源を活用し、医薬品の製造販売後調査（PMS）を製薬企業から請け負う事業を展開しております。

これらの結果、医療用医薬品等卸売事業における売上高は1兆381億66百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は90億7百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

[用語解説]

※1 ALC（Area Logistics Center）とは、医療用医薬品や医療材料などを扱う最新鋭の物流センターで、主に調剤薬局、病院、診療所に商品を供給しております。

※2 FLC（Front Logistics Center）とは、ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点であります。

※3 PRESUS^{※3}（Pharmacy Real-time Support System）とは、ALCと連動して、需要予測による自動発注や在庫管理などを行うオールインワンのシステムで、調剤薬局内の各種業務をサポートしております。

※4 AR（Assist Representatives）とは、MR認定試験に合格したMS（医薬品卸売業の営業担当者）や薬剤師などに付与した社内呼称であります。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、所得環境の持ち直しなどに伴う消費者マインドの改善や訪日外国人のインバウンド消費の拡大などにより、市場環境は改善傾向で推移いたしました。

このような環境の中、当社の連結子会社である株式会社PALTAC（大阪市中央区、平成27年7月1日付で株式会社Paltaacから商号変更）では、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで取り扱う中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化をめざした取組みを行っております。小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化と、安心・安全で高品質・ローコストの物流機能強化を図り、平時の安定供給はもとより、有事の際に

も「止めない物流」体制により、小売業ひいては消費者の皆さまへローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

今期は、同社で最大規模となる「RDC関東※1」（埼玉県白岡市）が平成27年8月に稼働いたしました。さらに東北エリアの流通最適化に向けた取組みとして「RDC東北」（岩手県花巻市）の増設、ならびに「FDC青森※2」（青森県青森市）と「FDC八戸」（青森県八戸市）の建設が完了し、同年10月から稼働いたしました。

また、平成27年8月11日開催の同社取締役会において、株式会社マツモトキヨシホールディングスの連結子会社である伊東秀商事株式会社を吸収合併することを決議し、同年10月1日をもって合併いたしました。

これらの結果、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における売上高は4,254億92百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は86億26百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

[用語解説]

※1 RDC (Regional Distribution Center) とは、化粧品・日用品、一般用医薬品などを扱う大型物流センターで、小売業に商品を提供しております。

※2 FDC (Front Distribution Center) とは、RDCを支援する仕分センターであります。

動物用医薬品等卸売事業

本事業では、当社の完全子会社であるMPアグロ株式会社（北海道北広島市）が動物用医薬品ならびに食品加工原材料等の販売を行っております。

動物用医薬品の販売は、畜産向け市場では畜産物相場の安定により、また、コンパニオンアニマル※向け市場では景気回復の後押しを受け、ペットの高齢化に伴う関連商品の販売が増加したことにより、順調に推移いたしました。食品加工原材料等の販売は、食の安全、おいしさと健康に結びつく提案型営業を全国的に展開し、大手食品メーカーを中心に販売拡大を図ったことにより、順調に推移いたしました。

これらの結果、動物用医薬品等卸売事業における売上高は234億47百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は4億70百万円（前年同期比92.0%増）となりました。

[用語解説]

※ コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1兆4,460億35百万円となり、前連結会計年度末より87億64百万円減少いたしました。

流動資産は1兆729億11百万円となり、前連結会計年度末より191億28百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少271億2百万円、受取手形及び売掛金の増加70億43百万円によるものであります。

固定資産は3,731億24百万円となり、前連結会計年度末より103億63百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加138億9百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は9,777億8百万円となり、前連結会計年度末より194億87百万円減少いたしました。

流動負債は9,130億1百万円となり、前連結会計年度末より281億25百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少274億54百万円によるものであります。

固定負債は647億7百万円となり、前連結会計年度末より86億38百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加95億72百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,683億27百万円となり、前連結会計年度末より107億22百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加95億85百万円によるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より271億2百万円減少(15.4%減)し、当第2四半期連結会計期間末には1,494億28百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、239億47百万円(前年同期は313億34百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益237億39百万円、減価償却費58億71百万円、たな卸資産の減少34億94百万円があったものの、売上債権の増加67億67百万円、仕入債務の減少274億54百万円、法人税等の支払107億69百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、182億8百万円(前年同期比109億52百万円の増加)となりました。これは主に、RDC関東等の有形固定資産の取得による支出181億25百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、150億37百万円(前年同期は116億78百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払34億46百万円があったものの、借入金の増加187億4百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、医療用医薬品等卸売事業および化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における第2四半期累計期間の業績および下期の業績見通しを踏まえ、平成27年5月13日付で公表した業績予想値を修正いたしました。詳細につきましては、平成27年10月30日付で開示いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

この修正にともない、平成27年5月13日付で公表した期末配当予想を1株当たり12円から13円へと修正し、年間配当予想を1株当たり26円とさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	181,606	154,504
受取手形及び売掛金	678,831	685,875
有価証券	18,764	18,768
商品及び製品	144,184	140,693
その他	69,361	73,764
貸倒引当金	△710	△695
流動資産合計	1,092,039	1,072,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	75,151	81,681
土地	102,926	102,318
その他(純額)	20,151	28,039
有形固定資産合計	198,230	212,039
無形固定資産		
その他	10,747	11,003
無形固定資産合計	10,747	11,003
投資その他の資産		
その他	155,302	151,430
貸倒引当金	△1,518	△1,349
投資その他の資産合計	153,783	150,081
固定資産合計	362,760	373,124
資産合計	1,454,800	1,446,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	862,644	835,190
短期借入金	17,400	25,400
1年内返済予定の長期借入金	4,854	6,056
未払法人税等	11,186	8,147
賞与引当金	8,552	8,445
返品調整引当金	823	691
その他	35,665	29,070
流動負債合計	941,127	913,001
固定負債		
長期借入金	4,928	14,500
債務保証損失引当金	400	500
厚生年金基金解散損失引当金	282	282
退職給付に係る負債	17,912	18,084
その他	32,545	31,340
固定負債合計	56,068	64,707
負債合計	997,195	977,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	134,362	134,362
利益剰余金	218,221	227,807
自己株式	△21,477	△21,480
株主資本合計	353,505	363,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,997	46,774
繰延ヘッジ損益	7	△3
土地再評価差額金	△14,326	△13,993
為替換算調整勘定	1,526	1,656
退職給付に係る調整累計額	349	99
その他の包括利益累計額合計	36,554	34,533
非支配株主持分	67,544	70,705
純資産合計	457,604	468,327
負債純資産合計	1,454,800	1,446,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,404,923	1,485,725
売上原価	1,305,563	1,382,420
売上総利益	99,360	103,305
返品調整引当金戻入額	831	823
返品調整引当金繰入額	790	691
差引売上総利益	99,401	103,437
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	33,820	34,061
福利厚生費	5,535	5,813
賞与引当金繰入額	7,901	8,332
退職給付費用	3,259	2,607
配送費	6,843	7,090
地代家賃	2,098	2,125
減価償却費	5,245	5,136
その他	20,149	19,827
販売費及び一般管理費合計	84,854	84,995
営業利益	14,547	18,441
営業外収益		
受取利息	71	92
受取配当金	1,042	1,216
情報提供料収入	3,442	3,578
不動産賃貸料	515	402
持分法による投資利益	345	682
その他	533	421
営業外収益合計	5,949	6,393
営業外費用		
支払利息	195	160
不動産賃貸費用	282	146
債務保証損失引当金繰入額	150	100
その他	96	42
営業外費用合計	723	449
経常利益	19,772	24,384

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	382	32
投資有価証券売却益	130	32
その他	0	—
特別利益合計	512	65
特別損失		
固定資産除売却損	174	90
減損損失	0	616
投資有価証券評価損	395	—
その他	12	4
特別損失合計	582	711
税金等調整前四半期純利益	19,703	23,739
法人税、住民税及び事業税	10,755	8,260
法人税等調整額	△3,893	△331
法人税等合計	6,861	7,929
四半期純利益	12,841	15,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,569	3,173
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,271	12,636

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	12,841	15,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,852	△1,492
繰延ヘッジ損益	12	△21
土地再評価差額金	51	—
退職給付に係る調整額	83	△221
持分法適用会社に対する持分相当額	△213	97
その他の包括利益合計	6,787	△1,638
四半期包括利益	19,629	14,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,795	10,282
非支配株主に係る四半期包括利益	2,834	3,889

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,703	23,739
減価償却費	6,133	5,871
減損損失	0	616
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	150	100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△847	△107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49	△185
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△596	171
売上債権の増減額(△は増加)	40,019	△6,767
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,994	3,494
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,075	△27,454
その他	6,242	△14,864
小計	26,674	△15,386
利息及び配当金の受取額	1,729	2,357
利息の支払額	△185	△149
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	3,116	△10,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,334	△23,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,626	△18,125
有形固定資産の売却による収入	2,455	497
投資有価証券の取得による支出	△691	△268
投資有価証券の売却及び償還による収入	450	1,772
その他	△3,843	△2,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,255	△18,208
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,000	7,930
リース債務の返済による支出	△215	△217
長期借入れによる収入	—	14,500
長期借入金の返済による支出	△2,052	△3,726
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	△2,713	△2,717
非支配株主への配当金の支払額	△697	△728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,678	15,037
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,401	△27,118
現金及び現金同等物の期首残高	127,733	176,530
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	15
現金及び現金同等物の四半期末残高	140,134	149,428

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	982,286	401,034	21,602	1,404,923	—	1,404,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,103	306	4	1,414	△1,414	—
計	983,390	401,341	21,606	1,406,338	△1,414	1,404,923
セグメント利益	6,784	7,183	245	14,213	333	14,547

(注) 1. セグメント利益の調整額333百万円には、セグメント間取引消去1,360百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,026百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,037,085	425,195	23,444	1,485,725	—	1,485,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,081	297	2	1,381	△1,381	—
計	1,038,166	425,492	23,447	1,487,107	△1,381	1,485,725
セグメント利益	9,007	8,626	470	18,104	336	18,441

(注) 1. セグメント利益の調整額336百万円には、セグメント間取引消去1,499百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,162百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。